第64回

長岡市 美術展覧会目録



2026

11.3(火祝)－8(日)

アオーレ長岡 アリーナ

午前9時～午後6時（初日は午後2時から／最終日は午後3時まで）

主　　催／長岡市　　主　　管／長岡市美術協会
後　　援／新潟日報社、長岡市教育委員会、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、
UX新潟テレビ21、NCT、FMながおか80.7、長岡新聞社、新潟日報美術振興財団、(公財)長岡市芸術文化振興財団
お問合せ／長岡市文化振興課　TEL：0258-32-5110　E-mail：bunkasinkou@city.nagaoka.lg.jp

ごあいさつ

長岡市長　磯 田　達 伸

第64回長岡市美術展覧会に御来場いただき、誠にありがとうございます。

本展覧会は昭和35年の創設以来、その時代を生きる人々の感性や表現を映し出しながら、長岡の芸術文化とともに歩みを重ねてまいりました。

今年も芸術･文化の秋にふさわしい、個性と創意にあふれる作品579点が出品されました。出品いただいた皆様に心から感謝申し上げるとともに、日ごろの努力と研鑽に深く敬意を表します。

会場内には、厳しい審査を経た入賞・入選作品465点が展示されております。一つひとつの作品に込められた想いや表現に触れながら、多彩な世界観をどうぞ心ゆくまでご鑑賞ください。また、本年は市制施行120周年の節目の年であります。長岡が育んできた歴史と文化を次代へつなぎ、文化芸術活動のさらなる発展を願い、記念賞を設けました。本展覧会が、芸術文化の魅力や創造することの素晴らしさを感じていただく機会となり、皆様に新たな発見や感動をお届けできることを願っております。

結びに、開催にあたり御尽力いただきました長岡市美術協会をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、これからも皆様に愛される長岡市展となることを祈念し、あいさつといたします。

長岡市美術協会 会長　坪 内　雪 山

第64回長岡市美術展覧会が盛大に開催されますことを、長岡市より委託を受けた主管団体として、心より嬉しく、誇りに思います。

毎年、市内外から数多くの力作が寄せられ、会場は作品を鑑賞する多くの皆様で賑わいを見せています。出品された作品の一つひとつには、作者のたゆまぬ研鑽と、それぞれの感性、創作への熱い思いが込められています。

審査においては、審査員の先生方が作品と真摯に向き合い、厳正な眼差しの中にも作者の思いを汲み取る温かさをもって、一点一点丁寧に選定されました。その姿に改めて、美術に携わることの意義と責任の重さを感じたところです。

近年は社会情勢の変化や自然災害など、私たちを取り巻く環境も大きく変化しています。そのような状況の中でも、多くの方々が創作活動を継続され、本市の美術文化を支えてくださっていることに深く感謝申し上げます。また、長岡市では大きな災害に見舞われることなく、皆様が心穏やかに制作に励むことができたことをありがたく思っています。

長岡市と長岡市美術協会がともに築き上げてまいりました「市展」が、美術を愛する皆様の交流の場となり、多くの方々に作品を楽しみ、心豊かなひとときを過ごしていただけますことを心より願っております。

日本画部門 講評

（公財）日本美術院評議員・同人　齋　藤　満　栄

新潟県は他県と比べて日本画ファンの層が厚いように感じます。特に後進の育成に携わる指導者が多くいらっしゃいます。江戸時代の北前船の影響か、その文化が根付いているのではないでしょうか。とても恵まれている展覧会だと感じられます。ただ残念なのは出品者が高齢化して、年々出品数が減少していることです。

ここで今回の展覧会の印象を述べさせていただきます。雪国特有の暗い絵が無く、皆さん明るく爽やかな絵が多い印象を受けました。作品を拝見すると一生懸命さゆえに絵が固くなっている感じがします。どの作品も構図と色彩を少し調整するだけで変わってきます。受賞を逃がしましたが、田中真理子さん「黄葉のブナ回廊」は全体に薄く黄色をかけると絵の雰囲気が変わります。そこがポイントです。石月久美子さん「秋を摘む」は秋の花と壺の静物画です。色彩が素晴らしく、音楽が聞こえる様です。相﨑重明さん「小さな開拓」はとても楽しんで描いていて、絵の中で物語を感じさせる作品です。描く楽しさが伝わってきます。笠井良子さん「陽に向かって」は花が同じ色調のため単調に感じます。花の咲く時間差が表現されると素晴らしい作品になるでしょう。倉部光行さん「祈り」は仏像を中心に置かないのが良かったです。文字が無くても言いたい事が伝わります。渡辺みどりさん「富貴花」はバックがとてもきれいで上手く出来ていました。葉の色をもう少し柔らかくすると素敵な絵になったと思います。

昨年より出品数が減りましたが、全体として絵の内容は充実してきた印象です。今後もこの様な元気な作品を描いていただきたいと思います。

市長賞



「冬凪の朝」
岡 田 英 夫

版画調で、牧歌的な雰囲気のあるほのぼのとした作品です。
墨を使って作者の主張がはっきり感じられる絵です。

市制施行120周年記念賞



「浄」
齊藤キセ

色彩が格調高いです。大人を感じさせる絵です。トンボの配置をもう少し変えると絵が広がっていきます。

奨励賞



「1　月」
山口文子

題材の選び方が特徴的でした。自宅で採れたクルミかもしれませんが、クルミだけで絵にしたのが成功でした。

新潟日報美術振興賞



「木　組」
佐藤由雄

繊細な仕事で技術的に申し分ありません。作者の力量を大いに感じさせる作品です。

No.	作品名	氏名	住所	備考
1	富貴花	渡辺みどり	長岡市山田1	
2	祈り	倉部光行	柏崎市	
3	白山神社	佐藤栄子	長岡市希望が丘2	
4	春彩	小黒正弘	長岡市美園2	
5	奇峰霧の朝　塩原にて	大矢幸二	長岡市和島高畑	
6	秋を摘む	石月久美子	長岡市東町	
7	C11が走る	平澤俊雄	長岡市長倉4	
8	陽に向かって	笠井良子	長岡市栄町2	
9	三人きょうだい	駒形伸子	長岡市千手3	
10	木組	佐藤由雄	小千谷市	日報賞
11	春宵	齋藤満栄	神奈川県	審査員
12	浄	齊藤キセ	長岡市東神田3	記念賞
13	心の空と海	津田朱里	三島郡出雲崎町	
14	思い出のクスコ	髙坂孝子	長岡市中島7	
15	慢慢上升（高く）	小川真美子	長岡市住吉1	
16	冬凪の朝	岡田英夫	三島郡出雲崎町	市長賞
17	1月	山口文子	小千谷市	奨励賞
18	小さな開拓	相﨑重明	小千谷市	
19	大漁	宇賀治敏夫	加茂市	
20	黄葉のブナ回廊	田中真理子	長岡市西神田町1	
21	糸瓜	渡部ヨオ子	長岡市北山2	

洋画部門 ―― 講評

（公社）日展特別会員　錦　織　重　治

審査は、いい絵に出会えて楽しく勉強になる反面、作者の思いを尊重しつつも優劣つけがたい作品群の中から選定しなければならない難しいものがあります。

どの作品も楽しく創造性が満ちていました。

その中から更に個性や感性があふれ、きらりと輝きを見せてくれる絵がいくつかありました。

何より大切なのは、絵を楽しみながら描くことであり、それが観る人に伝わると思います。

（画家は言葉や文章で表わせないことを絵で表現していると思っています。）

なお、今回賞には至らなかった作品の中にも、素晴らしい感覚と才能を感じさせる作品がありました。次回を楽しみに期待しています。

最後に、市制施行120周年の記念に色をそえた、ふさわしい展覧会になるよう祈念しております。

水彩連盟運営委員　滝　田　一　雄

市制施行120周年記念、長岡市美術展覧会の審査員として関わらせていただき、光栄と存じます。64回展にふさわしい作品が集まり、喜ばしく思います。

審査方針としては、力まず平常心で、ありのままの気持ちで作品一点一点を見たつもりです。作品のレベルには多少の開きがありますが、心のこもった作品群には深く関心します。

鑑賞のポイントは、作者の内心を読み取ることです。作者がどのような思いで表現したか探りながら鑑賞するのも楽しいと思います。

絵は特別なものではありません。描き手が楽しく絵筆を持ち、心の内を表現すれば、他者である鑑賞者に伝わるはずです。

色のセンスやデッサン力を研かなくてはなりません。日々努力です。とは言っても、プロになる訳ではないので、日々努力は辛いものがあります。気楽に楽しんで描いてください。



市長賞

「老　木」
蓮池純夫

絵の大切な要素である構図、バランス、動き、さらには描写力が優れており、なかなかいい絵です。あえて言えば、上部に対して下の部分（枝）が弱いので、支えとなる小枝をしっかり描いてほしいと思いました。

市制施行120周年記念賞



「海中都市」
村 田 健 心

発想力がとても良いと思います。色味も良いのですが、やや濁って見えます。構図的には縦の形単純です。

奨 励 賞



「きのう今日あした」
大 橋 正 子

リズミカルで楽しい絵に仕上がっています。少し鮮やかな色が中央辺りにあるともっといい絵になると思います。



「彼岸花の咲きほこる頃」
小 林 俊 二

全体に陽光を感じて明るくいい絵となっています。あえて言えば、木の下の影の色が暗いので、明るくされるとよりいい絵になります。



「花と昆虫のラブコール」
桜　花子

構成が楽しいです。色味が少し鈍いので色使いに注意してください。トンボの表現に工夫が必要です。



「天樹～千年後にお会いしましょう～」
日向瑞希

黒の明暗幅が足りないように感じます。黒による迫力はあるのですが、階調に幅を持たせるともっと良くなります。



「春の雨」
岩野弘一

色味の感性の良さは感じ取れます。手前の黒い大木の間に存在する白味の木が弱すぎます。枝の表現に注意しましょう。



「ここだよ。」
五十嵐　稔

水槽の向こう側にいる魚の群れが楽しく表現されています。周りの黒い縁取りの色味に工夫が必要です。



「姪っ娘東京より来たり」
長島　修

女性の表情も良く、全体的に温かくいい絵になっています。シャツとカーテンの色が補色的な寒色で描かれると、肌の色がもう少しきれいになっていいと思いました。



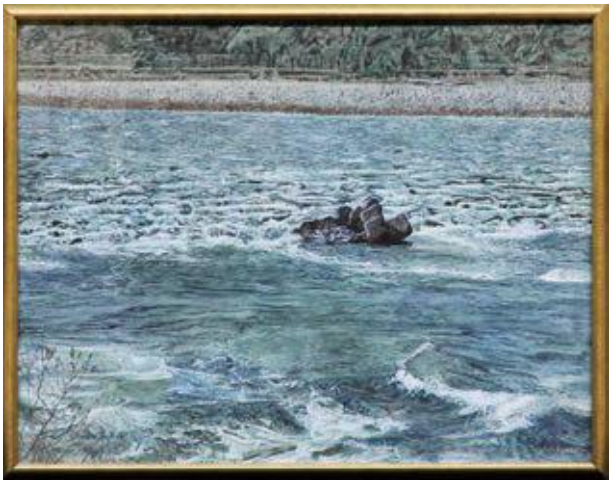
「秋の花籠」
水 島 洋 子

花とバックの色味のコントラストは美しく表現されています。籠を机の上に影として表現していますが、強いです。



「春　暁」
伊 丹　功

タイヤが動いているような躍動感があります。さらに風雪も表現されており、次のモチーフ選びに期待が持てます。



「滔々流る」
生 越 清 允

描写力がすばらしく、水の流れもよく描けています。構図的に横のラインが画面を切っていますので、全体的に構図のうねりや動きがあるとかなりいい絵になります。



新潟日報美術振興賞

「菊と神社」
林　ことみ

このリズム感が意外さを持ち、いい意味で魅力を感じさせます。色彩的にも躍動感があり、いい絵になっています。

洋画部門

No.	作品名	氏名	住所	備考
1	「米蔵」改築前	関　健一	長岡市宮原3	
2	秋澄む（奈川）	丸岡昭子	長岡市沢田2	
3	悠子と旅立ち	石井　勉	長岡市西千手1	
4	東山公園	関　文三	長岡市福住1	
5	鏡に写る命の光	福居憲和	長岡市表町2	
6	赤い小屋	村山　訓	十日町市	
7	羽黒神社大けやき	紗龔愛裡紗	長岡市東栄3	
8	ワイキキのニューフェイス	佐久成　一	長岡市西宮内2	
9	山際の湖面景	根津一良	十日町市	
10	夜桜	宮田和子	長岡市両高	
11	柿川	多田敬次郎	長岡市川崎3	
12	橋、川、水道塔	竹内克志	長岡市大手通2	
13	庭の樹－2025－秋	片桐キセ	長岡市三島中条	
14	船溜まり	吉原伸子	長岡市浦	
15	緑風、爽やか	横山一郎	長岡市東坂之上町3	
16	「青い春」を映す	大竹夏子	長岡市宮原3	
17	その未来へⅡ	小林大造	長岡市上前島2	
18	11月の日向	永井義夫	柏崎市	
19	石蛙塾	小田原操子	長岡市才津南町	
20	Zakuro	小田原操子	長岡市才津南町	
21	遠雷	大関一良	長岡市新町1	
22	秋の散歩道	清水郁子	長岡市寺島町	
23	夏の想い出	小笠原友子	長岡市前島町	
24	反射	佐藤いろは	魚沼市	
25	天使の贈り物	北原久夫	長岡市小国町小国沢	
26	在りし日の柿	海原夫仁子	柏崎市	
27	穏やかな日々	海原　武	柏崎市	
28	千秋が原	永井勝信	長岡市平島2	
29	風の記憶	藤巻　均	柏崎市	
30	あたえられた場所で	Natsume	長岡市下々条町	
31	通り雨	清水好和	中魚沼郡津南町	
32	緑の息吹	阿部イツ子	長岡市四郎丸3	
33	阿修羅の流れ・夏	丸岡昭子	長岡市沢田2	
34	支え合う古木	金山眞理子	長岡市美沢1	
35	菊理姫と叶龍～結びの舞～	momo&waity	三条市	
36	叶龍～陰陽和合の刻～	momo&waity	三条市	
37	収穫	佐藤　徹	長岡市宮内8	
38	おいらせ渓流	清水ミツエ	長岡市古正寺3	
39	春の散歩道	高野真梨子	長岡市新保2	
40	修業時代	高坂尚登	新発田市	
41	海上の先に開く煌	池田陽咲	長岡市栃尾原町3	
42	水面新緑	佐藤秀紀	見附市	
43	やさいばたけでかくれんぼ	中村美智瑠	長岡市西神田町1	
44	盛夏白馬岳	佐藤由英	長岡市川崎5	
45	瓶と人形	桛澤禮子	長岡市青葉台2	
46	グラス	諏訪部秀樹	長岡市福住3	
47	春を待つ山古志	宇賀治敏夫	加茂市	
48	ｽﾃｷな来客!赤い実を求めて	青柳アヤ子	長岡市鳥越	
49	きのう今日あした	大橋正子	長岡市入塩川	奨励賞
50	彼岸花の咲きほこる頃	小林俊二	長岡市緑町1	奨励賞
51	花と昆虫のラブコール	桜　花子	長岡市川崎6	奨励賞
52	天樹~千年後にお会いしましょう~	日向瑞希	長岡市学校町2	奨励賞
53	海中都市	村田健心	三条市	記念賞
54	老木	蓮池純夫	柏崎市	市長賞
55	春の雨	岩野弘一	南魚沼市	奨励賞
56	ここだよ。	五十嵐　稔	長岡市南町2	奨励賞
57	姪っ娘東京より来たり	長島　修	長岡市住吉1	奨励賞
58	菊と神社	林　ことみ	南魚沼市	日報賞
59	秋の花籠	水島洋子	長岡市摂田屋5	奨励賞
60	春暁	伊丹　功	長岡市神田町3	奨励賞
61	滔々流る	生越清允	十日町市	奨励賞
62	見つめ合う想い	上村二三雄	長岡市東中野俣	
63	私の台所	鈴木悦子	長岡市深沢町	
64	春の里	土田敬彦	長岡市緑町1	
65	思考を超えて	Nonchi.m	長岡市中沢町	
66	冬支度	水澤綾子	長岡市才津南町	
67	ブルームーン	田辺和之	長岡市今朝白1	
68	夏の瞬き	米　豊	長岡市殿町1	
69	清流	平松一政	長岡市与板町与板	
70	隣のお嬢さん	伊丹　功	長岡市神田町3	
71	輝く庭園	小川正喜	長岡市堀金1	
72	鉄槌~Summoned Ancient Object~	今井和行	長岡市高町3	

No.	作品名	氏名	住所	備考
73	白き朝・赤岳（八ヶ岳主峰）	錦織重治	神奈川県	審査員
74	座るひと	滝田一雄	埼玉県	審査員
75	作業小屋の秋	中澤　功	柏崎市	
76	アメリカさるすべり	圓山和男	長岡市青葉台5	
77	雨上がり	八木野　登	長岡市王番田町	
78	春の鼓動	赤川典子	長岡市川崎町	
79	桃の里	笠井　進	新潟市	
80	朝霧の里山	笠井　進	新潟市	
81	あと一息	遠藤松男	長岡市来迎寺	
82	想い	倉部光行	柏崎市	
83	厳冬落日	笠井　功	長岡市曲新町	
84	降雪の寺院	大矢紀元	長岡市与板町与板	
85	もっと怒れ	小林智子	長岡市摂田屋1	
86	花と果物	栄木末一	長岡市日赤町3	
87	晩夏	宮下　登	長岡市今朝白3	
88	追憶	大竹久子	長岡市巻渕3	
89	子犬	大渕幹夫	長岡市来迎寺	
90	錦鯉	大渕幹夫	長岡市来迎寺	
91	カントリーの見える風景	角山幸蔵	長岡市古正寺3	
92	ツリー婦人を探せ8	髙橋栄子	長岡市干場1	
93	愁華	赤川道代	長岡市大荒戸町	
94	収穫	吉川正直	長岡市河根川町	
95	不思議な一隅	池田幸子	刈羽郡刈羽村	
96	KARIWA・LION	石垣百合子	刈羽郡刈羽村	
97	秋思	木村志津子	長岡市上富岡2	
98	Personification	佐藤真理子	長岡市旭岡2	
99	鬼太鼓（金の道へ）	水口正明	小千谷市	
100	山里に春が来た	宮下　登	長岡市今朝白3	
101	秋日和	竹内克志	長岡市大手通2	
102	小犬	小林正義	長岡市弓町2	
103	午後の越後丘陵公園	柳　恒雄	長岡市地蔵1	
104	明日を想う	小林厚子	長岡市新保3	
105	家庭菜園で育った野菜たち	今村　泉	長岡市宮内2	
106	島んちゅの夜	日向瑞希	長岡市学校町2	
107	雨を待つ	小山真桜奈	柏崎市	
108	一口の夏、祖母の幸せ	飯塚愛菜	刈羽郡刈羽村	
109	DAN-RAN	伊比ちよ子	柏崎市	
110	私も仲間に入れて、タンバリン	高頭綾子	長岡市深沢町	
111	初夏のガーデン	高橋典子	長岡市福住3	
112	川口橋と13番札所頂	岡村　譲	長岡市西川口	
113	邂逅	田中翠恵	長岡市青葉台3	
114	ゆっくり行きましょう	藤井英雄	長岡市三和2	
115	夢際	羽賀由加里	長岡市花園南2	
116	涼風の候	南波洋子	長岡市寿3	
117	豪華なコンビネーション	山崎輝男	長岡市末広1	
118	秋びより	近藤蓉子	長岡市上富岡2	
119	春のひざし	木下幸子	長岡市川崎5	
120	赤い服の女（ひと）	上村二三雄	長岡市東中野俣	
121	春のブナ林	野口　功	長岡市摂田屋2	
122	和気あいあい	玉木幸代	長岡市城内町2	
123	黄昏に肩寄せて夕涼み	武樋　弘	長岡市東片貝町	
124	バラの咲いた日	大関義松	長岡市宝4	
125	陽の恵み	酒井信子	長岡市宮栄1	
126	今年も咲いた	成田イツ	長岡市関原南1	
127	爽風	丸山法子	長岡市川崎2	
128	望郷	米山真理子	長岡市城内町3	
129	春寒の美人林	丸山　徹	長岡市緑町1	
130	静かなひと時	高野八重子	長岡市西神田町1	
131	冬日	田中節子	長岡市成沢町	
132	家族	丸山恵理子	長岡市関原南2	
133	6匹の猫たち	大野春江	三条市	

彫刻部門 講評

（公社）二科会会員　角　谷　豊　明

この度、市制施行120周年記念の長岡市展彫刻部門審査を務めさせていただくことになりました。

彫刻は石や木を削っていくものや粘土などで原型を作っていくものを始め様々な素材を使い、様々な工法がありますが、どれも散らかったり粉塵が凄くなったりで、ある程度広い制作場所が必要となります。また、材料調達や道具をそろえるにも中々一苦労する難関部門と言えます。

作品制作については大小・素材に関わらず、形とバランスが大切で、例え故意に崩してもどの角度からでも均衡が取れていることが必要と考えています。

審査会場に入ると、近年公募展応募者の減少が続いている中において審査対象出品数が多く、作品から力強く訴える感覚が伝わってきました。作者それぞれが感性を大切にしながら、作りたいものを心を込めて制作し、出品されていると感じました。

出品作品は地域内で似たような作風になりがちですが、その傾向もあまり見受けられなく、それぞれ自分のカラーを前面に出し、自分なりの技術と技法を駆使して制作していると感じました。また、個性豊かな作品群の中に実力を感じる作品が多く、改めてレベルの高い公募展であると思いました。

作品中、「少女《夏至》」は姿勢が良く気持ち良いバランスを醸し出しています。「18」は石膏の頭像で基本がしっかりしていて好感がもてます。「ホワイトキャッツ ～一粒万倍～」は和紙でしっかり猫を表現した作品です。「どうしたの？ 話してごらん」は小さいながらも形を捉えていると思います。入賞作品以外にも、自分の想いがしっかり表現された勢いのある木彫や、流木・竹・金属を組みあわせた奥行きとバランスのある新しい感覚の作品など、どれも賞に値する優れた作品が多く見られました。真剣に向きあった作品群に未来を感じました。



市長賞

「少女《夏至》」
高坂尚登

ダンボールで形を作り削った粉末を練り込み仕上げています。バランス、形ともに良く出来ている作品です。

市制施行120周年記念賞



「18」
白 倉 徳 知

石膏の頭像で、しっかり作られていて好感が持てる作品です。
今後の発展が楽しみです。

奨 励 賞



「ホワイトキャッツ　～一粒万倍～」
外山武弥　ホワイトキャッツ

小国和紙で素材の特徴を活かし、猫と穀物を制作しています。題名通りの作品です。

新潟日報美術振興賞



「どうしたの？ 話してごらん」
土田真由美

小さいながらも、しっかり形を捉えていると思います。背中に力強い面が出来ているともっと良かったと思います。

彫刻部門

No.	作品名	氏名	住所	備考
1	どうしたの? 話してごらん	土田真由美	長岡市長倉3	日報賞
2	くるみ	谷　香菜子	長岡市桂町	
3	あっ！	大矢良二	小千谷市	
4	Let's eat!	佐藤真佐美	長岡市城内町3	
5	祈り	山本拓志	長岡市長倉1	
6	ひと休み	石﨑美津子	長岡市中沢2	
7	文鳥（遠い思い出）	内山有梨	長岡市干場1	
8	陽だまり	森山　亘	長岡市青葉台5	
9	冬の夜	角谷豊明	湯沢町	審査員
10	実家にて	田村敏宏	長岡市土合5	
11	18	白倉徳知	長岡市蓮潟2	記念賞
12	少女《夏至》	高坂尚登	新発田市	市長賞
13	ホワイトキャッツ ～一粒万倍～	外山武弥 ホワイトキャッツ	長岡市御山町	奨励賞
14	へそ曲り地蔵	宇賀治敏夫	加茂市	
15	石器じだいのゆめ	佐野盛男	長岡市大町3	
16	孫	佐野盛男	長岡市大町3	
17	暑いもう限界	岡　金次郎	三条市	
18	樹幹	戸田智也	長岡市巻島1	
19	甦生	中村富美子	柏崎市	
20	アレグロ・ノン・トロッポ	内山博文	長岡市花園南2	
21	アイヌの長老	宇賀治敏夫	加茂市	

工芸部門 講評

（公社）日本工芸会正会員　桑　山　弥　宏

私の審査も今年で最後となりました。

どの展覧会も工芸部門の出品数は減少傾向にあり、それに伴い作品の水準低下も懸念されています。その中で本展覧会は、昨年の大幅減から今年は横ばいで推移し、作品が特定の素材に偏ることなく、ある程度の水準を維持していると思います。審査はまず作者の意図を見落とさぬように注視しながら一巡し、審査員各々が気になる作品を挙げ、それらを比較、論議し、賞を決定しました。

該当作品をどうにか絞り出したのではなく、どの作品にも入賞の可能性を感じ、自信を持って選出することができました。公募展における工芸は、自身の表現とそれを伝える技術が重要です。考えつくり続けること、出品し人目に触れることで作品は洗練されます。目標を持つことも良いですし、俯瞰して見ることも大切です。展覧会はそのような場だと思いますので、ぜひ続けて出品していただきたいと思います。最後になりましたが、本展覧会のますますのご発展を祈念申し上げます。

（公社）日展会友　渡　邉　久　意

昨年に引き続き審査をさせていただきました。自然災害も含めて世界規模で社会が大きく揺れる今日ですが、その中で作品を創ることは大きな意味があるように思います。感性を磨き、豊かな想像力で乗り切っていきたいものです。

審査では、作り手の思いが強く感じられ、素材の特性を十分に活かしている作品を選びました。出品数が多少減ったとは言え、どの作品も完成度が高く、創ることを楽しんでいる様子がうかがえ、多種多様な素材に挑戦している姿勢にも好感が持てました。作品を創ろうとした最初の思いを完成まで持ち続け、独創性のある作品に仕上げていくことが一番大切だと思います。来年の展覧会でもみなさまの作品を拝見できることを楽しみにしております。

市長賞



「え　ん」
南波日和里

鋳銅でつくられた花器です。形がよく、特に口のつくりに工夫が見られます。色合い、仕上げも完成度を高めています。



市制施行120周年記念賞

「黎　明」
目崎久美子

釜の大きさの制限を逆手に取り、四分割の構成が効果的に表現されています。モノトーンの中に赤い頂きが作品に色味をそえて、自然の広がりが表現されています。

奨励賞



「蝶の見た夢」
渡辺由美子

銅板のレリーフです。画面いっぱいの図案と色合いが良く、額も統一感を持たせたことで、飾りたくなる作品になりました。

新潟日報美術振興賞



「練上　華ごよみ」
小黒トモ子

練り上げという技法で何種類もの土を用いて、うまく作品に仕上げています。前作からの挑戦が見受けられます。



「臥龍。腐らず驕らず」
外山武弥　ホワイトキャッツ

様々な和紙を使い分け、その特徴を活かした技術で存在感のある作品に仕上がっています。ガラス玉は説明的に感じられるため、ない方がすっきりすると思います。

No.	作品名	氏名	住所	備考
1	響宴	中粉規男	柏崎市	
2	往来β	田村敏宏	長岡市土合5	
3	一輪挿し	佐藤直子	長岡市雨池町	
4	冥	大宗泥隣坊	柏崎市	
5	たゆたう	kougetu	長岡市渡里町	
6	花カゴ	石井征治	長岡市緑町3	
7	追憶	大塚明美	長岡市栃尾旭町	
8	仏壇花瓶一組 灰釉窯変　カメ型花瓶	加藤洋一	長岡市今朝白2	
9	花瓶	佐藤直子	長岡市雨池町	
10	星の花	笹川正範	三条市	
11	灰釉窯変　花瓶	加藤洋一	長岡市今朝白2	
12	生命の樹	田村百合子	長岡市中沢4	
13	雪融	長谷部悠稀	魚沼市	
14	飴宿	長谷部悠稀	魚沼市	
15	余韻	kougetu	長岡市渡里町	
16	峻樹	渡邉雄介	長岡市長倉1	
17	動きのある装飾	横田英樹	小千谷市	
18	風雪	梶山厚雄	長岡市川崎5	
19	Happiness	戸沢京子	魚沼市	
20	小さなトレー	親松　晃	長岡市川崎5	
21	黎明	目崎久美子	小千谷市	記念賞
22	蝶の見た夢	渡辺由美子	長岡市金房3	奨励賞
23	えん	南波日和里	三島郡出雲崎町	市長賞
24	向光（型染め）	渡邉久意	燕市	審査員
25	献保梨輪花合子	桑山弥宏	柏崎市	審査員
26	練上　華ごよみ	小黒トモ子	長岡市殿町2	奨励賞
27	臥龍。腐らず驕らず	外山武弥 ホワイトキャッツ	長岡市御山町	日報賞
28	置物	小嶋多壽子	長岡市小国町諏訪井	
29	春に舞う	大塚明美	長岡市栃尾旭町	
30	心如水中月	宮　江利	長岡市来迎寺	
31	くるみ割人形	秋元輝子	長岡市新町2	
32	佐渡ヶ島で休む三ヶ月	金子嘉通	長岡市中島2	
33	達磨大師~面壁九年(台座付)	岡　龍夫	長岡市小国町相野原	
34	薔薇色に輝く	笹川正範	三条市	
35	幸せの花火	みどりの杜	長岡市小曽根町	
36	古代の息吹	宮嶋和子	長岡市前田1	
37	皆幸せになれ	お花炭花墨人	長岡市上樫出	
38	二人	石﨑　洋	長岡市中沢2	
39	陶器のランプシェード	島影昭児	長岡市青葉台3	
40	長岡の夏　三尺玉	丸山由香	長岡市宮内4	
41	大正ロマン	佐藤　守	小千谷市	
42	君子蘭	柳沢新介	長岡市西蔵王1	
43	焦げても前向きな薔薇たち	勝又　都	長岡市栖吉町	
44	思い出	原　洋子	長岡市本町1	
45	しあわせ	早川弘子	長岡市琴平3	
46	ソファカバー	吉岡栄子	長岡市住吉1	
47	バッグ	吉岡栄子	長岡市住吉1	

書道部門 講評

（公社）日展会友　朝　平　霞　山

今年は市制施行120周年記念ということもあり、作品レベルは高いであろうことは想像しておりましたが、多種多様な表現の作品群は期待どおりでした。特に、上位の作品は力が拮抗しており、選考には苦慮いたしました。

書の分野に長年身を置いていても、作品づくりの前には、やはり古典の臨書は欠かせません。それを怠ると、新たな案、言い換えると引き出しが少なくなります。また、繰り返し同じものを臨書してみると、新しい発見があるものです。一に臨書、二に臨書、飽く無き探究が書の楽しみを増やしてくれると思います。

新潟大学教授　岡　村　鉄　琴

まず、出品作を一巡し、書体や書風、用具用材、まとめ方（書式）などの傾向を見て回りました。多様な作品群の中で、特に仮名作品の多さと水準の高さを強く感じました。

次に、ベテランの朝平霞山先生と各々が佳作に推すものを選び、計18点が集まりました。各作を改めてじっくりと鑑賞し、長所と改善点、魅力的なところを審査員２人で談議しながら入賞作品の絞り込みに入りました。もちろん、釈文を読みながら、正しいくずしであるかも確かめました。

18点から半数に絞るのは大変難しく、地域における書文化の振興という観点からも全体の書風のバランスを考慮しつつ、賞の決定を進めた次第です。

昨年から継続して錬度を高め入賞された方がいる一方、新たな顔ぶれも見られ、今後の長岡市の書文化のさらなる発展が楽しみです。なお、入選作品にも挑戦的態度の出品者が多く、好印象を受けました。ご来場の皆様におかれましても、気軽に筆の表現を体験するつもりで出品されてはいかがでしょうか。

市長賞



「木枯しの風」
永 井 道 子

仮名特有の優美さを遺憾なく発揮した作品です。序破急の展開は魅力的で白眉の作と言えます。

市制施行120周年記念賞



「岑参詩」
山口梨秀

筆の遅速、墨の濃淡など作品づくりを充分に心得ています。中央に見せ場を配した構成は、視覚的効果を高めて魅力的です。

奨励賞



「蔡確詩」
田中梨風

重厚さと筆の割れとが隣り合わせの独特のリズムに注目しました。落款の文言の入れ方や押印の配慮もさすがです。



「春吹雪」
高橋直子

全体の構成についてメリハリが効いています。字群の設け方も縦に痛快に伸びたり、結句の組み合わせが見事です。



「夕　霰」
石坂良子

品緻ある色紙に墨の力強さが映えた作品です。各首の散らし書きの工夫が自然かつ大胆で、強調画も生きています。



「蘇東坡詩」
馬 場 青 琴

紙面を悠々と泳ぐが如き配字の妙、余白の美しさ、呼吸の長さも佳、今後結体をさらに正確に構えましょう。



「榴　花」
小林三四子

墨色の変化が自然で全体がよく統一されています。時折見せる渇筆が効果的です。



「陸游詩」
相 田 光 範

手馴れた作品で四行を破綻なく仕上げています。潤渇などの変化につながる表現がもう少し欲しいところです。

新潟日報美術振興賞



「臨 敦煌漢簡」
速 水 陽 奈

何よりも紙からあふれ出る瑞々しさが魅力的です。技術面では毛筆の弾力性を発揮し、筆の開閉も巧みです。

No.	作品名	氏名	住所	備考
1	香山寺作 臨	田上桃彩	長岡市水梨町	
2	七言絶句二首	水野洋子	長岡市愛宕1	
3	朝顔	佐藤文子	長岡市与板町槙原	
4	五言律詩	反町旭峯	長岡市黒津町	
5	蔡確詩	田中梨風	長岡市中之島	奨励賞
6	臨 裴将軍詩	杉山由奈	長岡市上除町西1	
7	ふぢはらの	諏佐悦子	長岡市東町	
8	一聲	洞田海雲	長岡市荻野1	
9	冬木の庭	関野千賀子	長岡市宮本東方町	
10	漢詩	諸橋麻貴	長岡市北荷頃	
11	臨 楊大眼造像記	川本美桜	見附市	
12	浮雲	根岸寿恵	長岡市下山5	
13	春吹雪	高橋直子	長岡市昭和2	奨励賞
14	黄庭堅詩 春近四絶句	佐藤　清	長岡市今井3	
15	平和をつなぐ	油谷風花	長岡市黒津町	
16	秋色	中川和子	長岡市高見町	
17	臨 顔勤礼碑	小林彩花	長岡市要町1	
18	月の影	西片惠子	長岡市永田1	
19	朝霧	吉田南威	長岡市栃尾本町	
20	臨 魏霊蔵造像記	行方愛莉	長岡市下条町	
21	高適詩	山田礼子	長岡市豊詰町	
22	月華	渡辺美萠	長岡市巻島2	
23	春風	岩崎由佳	長岡市希望が丘1	
24	五言絶句	高木桃華	長岡市不動沢	
25	李商隠詩	渡辺佳舟	長岡市関原南1	
26	臨 灌頂記	井口菫花	長岡市稲保1	
27	夕霰	石坂良子	長岡市大口	奨励賞
28	朔風	目黒吉扇	長岡市下山6	
29	臨 光明皇后楽毅論	伊藤愛唯	長岡市上除町	
30	古詩	青木香子	長岡市川崎町	
31	龍虎	中川荷舟	長岡市柏町2	
32	白楽天詩	平沢悠歩	長岡市城岡2	
33	木枯しの風	永井道子	長岡市宮本町1	市長賞
34	杜甫詩	駒形晃石	長岡市関原町2	
35	臨 蘭亭序	恩田稀耀	長岡市三和2	
36	飛翔	朝平霞山	新潟市	審査員
37	ふじの山	岡村鉄琴	新潟市	審査員
38	光徳	原　正峯	長岡市脇野町	
39	李昌祺詩	萩野墨守	長岡市吉崎	
40	白居易詩	石垣蒼舟	長岡市松葉1	
41	早發錢塘	星野大淳	長岡市宮内7	
42	高野切第三種臨書	三浦佐知	長岡市与板町馬越	
43	臨 蜀素帖	峯島知佳	燕市	
44	臨 自書告身	高野琉乃	長岡市新組町	
45	岳陽晩景	高木伸葉	長岡市緑町1	
46	秋浦歌	石楠亮裕	長岡市十日町	
47	王維詩の一節	今村蜨夢	長岡市宮内2	
48	秋の風	飯島優子	長岡市上除町西1	
49	臨 楽毅論	安藤理恵	長岡市川崎4	
50	臨 散氏盤	磯部璃桜	見附市	
51	村上鬼城句	田中和貴子	長岡市中之島	
52	漠漠春寒	高橋俊子	長岡市神谷	
53	有限	加瀬正人	長岡市信濃2	
54	岑参詩	山口梨秀	長岡市沢田2	記念賞
55	雪の玉水	佐藤啓子	長岡市三島中条	
56	春爛漫の花の色	坂井紅綾	長岡市平島3	
57	渡津海の	石黒香春	長岡市与板町本与板	
58	臨 自叙帖	高野瑠莉	長岡市川崎5	
59	秋江渺渺	西山裕子	長岡市川崎2	
60	蘇東坡詩	馬場青琴	長岡市下山3	奨励賞
61	窮則變變則通	佐藤天空	長岡市住吉1	
62	千字文	大桃彌一	長岡市中瀬2	
63	「天保」-『詩経』より	髙加茂陽子	長岡市長倉4	
64	島崎藤村の詩	丸山厚子	長岡市与板町本与板	
65	送裴将軍詩	高木伸葉	長岡市緑町1	
66	夜舟の笛	福原裕子	長岡市川崎町	
67	九成宮醴泉銘臨書	相澤敏一	長岡市李崎町	
68	榴花	小林三四子	長岡市小国町七日町	奨励賞
69	臨 黄州寒食詩巻跋	小田歩夢	小千谷市	
70	月影	土井洋子	長岡市新保1	
71	辺塞詩	井口文子	長岡市川崎町	
72	過商山戎昱詩	梨本知恵	長岡市千秋1	

書道部門

No.	作品名	氏名	住所	備考
73	良寛詩	南　万智	長岡市蓮潟3	
74	陸游詩	相田光範	長岡市栃尾大野町1	奨励賞
75	宇宙遺産	古塩猿釣	長岡市曲新町2	
76	清風	前田和江	長岡市栃尾原町3	
77	冬菊	佐藤恭子	長岡市千手2	
78	李白詩	若月夏葉	長岡市下沼新田	
79	萬壑白雲浮	吉原惠子	長岡市北山2	
80	三日月の湖	和田百合子	小千谷市	
81	臨 敦煌漢簡	速水陽奈	見附市	日報賞
82	暮鐘	谷内田眞理子	長岡市花園1	
83	おろかなる	藤縄美弥子	長岡市坂之上2	
84	杜甫詩	小川早恵子	長岡市蓮潟5	

写真部門 講評

（公社）日本写真協会正会員　岡　嶋　和　幸

今年が３回目、最後の審査でした。出品された作品はこれまでで最もレベルが高く、そのぶん見応え、選び応えがありました。撮られた被写体やシーンも偏りが減り、独創的な表現にチャレンジされた作品も増えているようです。今後につながるような素晴らしい入賞作品をお披露目できて良かったです。観賞されるみなさんも、幅広い写真表現が楽しめると思います。今回は作品の内容だけでなく、画像編集やプリントなどの全体的なレベルアップも図られているようです。壁に掛けられ人目に触れる「モノ」そのものが作品であり、パネル加工までを含めて写真表現だと考えます。そのあたりの意識の高まりも感じられ、写真展を中心に活動している私も大変うれしく思います。たくさんの人にこれからも末長く写真活動を続けてほしいと願います。長岡市美術展覧会の益々のご発展をお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。

新潟県写真芸術協会会員　田　辺　千　勝

昨年に引き続き、２回目の審査を担当させていただきました。多様で水準の高い作品が数多く寄せられ、今年も審査に大変苦慮いたしましたが、この地域への関心の高さが強く伝わってくる展覧会だと深く感銘を受けました。

写真表現において「何を写すか」と同じくらい重要なのが、画面をどう整理するかという「画面の単純化」です。被写体が魅力的であっても、背景に余計なものが写り込んでいたり、構図が乱雑だったりすると、本当に伝えたいメッセージが曖昧になってしまいます。不要なものを削ぎ落とすことで、被写体が持つ力強さや美しさはより際立ちます。主題を際立たせるために「何を残し、何を捨てるか」を常に自問自答することで、より洗練された、説得力のある作品が生まれます。今後とも皆様が素晴らしい作品を生み出され、ご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。



市長賞

「仲良し姉妹」
渡辺恵子

シャボン玉を夢中になって飛ばす妹と、その様子を温かく見守る姉。春の光に包まれ、幸せそうな雰囲気です。

市制施行120周年記念賞



「余　熱」
小 野 順 平

光の筋が眩しく流れる情熱的な作品です。花のシルエットが揺らめくように浮かび上がり、不思議な描写です。

奨 励 賞



「嬉しいスキップ」
小 林 英 子

桜の季節、子どもたちの元気な声と足音が聞こえるようです。モノクロームの表現が主題をより際立たせています。



「準備万端」
髙 野　　裕

整然と並べられたパイプイス。すごい数ですね。その向こうには仮設トイレもずらり。壮観な眺めです。



「ワニ雲に呑まれる三日月」
中 川　　等

薄暮の空に浮かび上がる三日月。巨大なワニが呑み込もうとしているように見せるなんて、絶妙な構図です。



「振　袖」
中 村　　弥

タンチョウが翼を左右に広げた瞬間を正面から捉えています。動感があり白と黒のコントラストの美しさが表現されました。



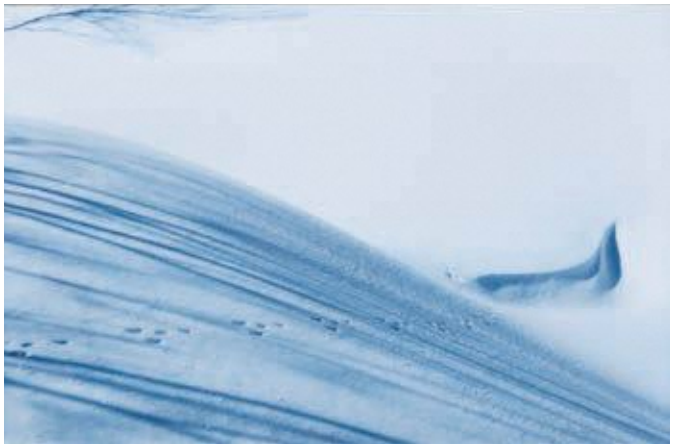
「激　突」
小 林　　博

闘牛のぶつかり合い迫力満点です。大胆に切り取った構成に、牛の生命力と臨場感が伝わってくる作品です。



「雪原の雄姿」
樋 熊 富 男

雪原の中に佇む大樹が印象的です。モノトーンの美しさを感じます。背景の木が遠近感を演出しました。



「白銀のキャンパス」
樋 口 正 夫

雪原に残された足跡と木影が静けさと物語を感じさせます。余白の美しさを感じさせる作品構成です。



「Sさんの宝物」
小 片 彩 香

６枚組の作品、独自の視点で日常の断片が表現されました。さりげないカメラワークや計算された光と影、Sさんの人柄が伺えます。



「紙風船」
佐 藤 研 二

障子越しの妖艶な女性のシルエット。紙風船だけは光を透かし、柔らかな球形を投影。その対比が印象的です。



「安住の館」
渡 辺 繁 夫

秋のやわらかな光のなかで石の祠に蜂の巣、周囲を飛び交う蜂の群れの対比が印象的です。自然界のエネルギーを感じます。



「晩秋の穂波」
太刀川加代子

倒れた稲穂、農家の苦労が忍ばれます。背景の朝霧とハサ木により広大な田園風景がより強調されました。



「あうんの波紋」
佐 野 恵 子

ご夫婦で黙々と作業をされている様子を美しく捉えられています。風や水の音が微かに聞こえてくるようです。



「うんめい胡瓜」
星 野　　栄

胡瓜を口に「はいチーズ！」。もう左手にも胡瓜。そのおちゃめなポーズと表情がとても素敵な一枚です。



新潟日報美術振興賞

「On a rainy day,」
小川苺華

濡れたガラスの向こうのペンギンが心なしか泣いているようです。しっとりとした絵画的な描写が素敵です。

写真部門

No.	作品名	氏名	住所	備考
1	秋快晴	田村　勲	新潟市	
2	冥界に入る	郷　保治	長岡市青葉台2	
3	師弟	髙井美恵子	見附市	
4	白いひまわり	渡辺信行	上越市	
5	裸足のマドンナ	上野正道	新潟市	
6	夕日と語る	辻本武子	新潟市	
7	願い	古川和久	上越市	
8	揃い踏み	石田朋之	新潟市	
9	夕べの公園散歩道	新保暢一	小千谷市	
10	私を見て！	小杉恵子	小千谷市	
11	想	K　e　i	長岡市青葉台5	
12	優美な舞い	酒井省三	見附市	
13	少し秋	志田幸夫	魚沼市	
14	狐の嫁入り	Tetsuya Morohashi	長岡市今朝白1	
15	興味津々	関　利一	小千谷市	
16	ゆらりゆられて	今井栄一	長岡市大積三島谷町	
17	光源氏の舞	五十嵐惣一郎	長岡市西神田町1	
18	登龍門	松本綾子	長岡市表町3	
19	寒スズメ	西脇　功	長岡市浦	
20	一刀両断	二野宮　健	長岡市船江町	
21	優美な尾 オナガドリ	長谷川愼一	長岡市花園2	
22	癒される市展だね	姉﨑　功	長岡市地蔵1	
23	予約席	渡邉光雄	長岡市希望が丘南5	
24	郷愁の家並	広川のぶ子	長岡市青葉台2	
25	サクラ並木『歩きた〜い！』	永原英人	長岡市前島町	
26	花に飛び来たるもの	飯島俊子	長岡市中沢4	
27	オオヒシクイ	遠藤　誠	長岡市西新町2	
28	豪雪の守り人	山宮十九男	長岡市住吉2	
29	水面の舞	加藤四郎	長岡市与板町東与板	
30	あ？あったかい	佐藤一男	長岡市柳原町	
31	モノクロのリズム	髙井きみ子	見附市	
32	母の腕枕	辺見喜八郎	見附市	
33	親子狐	小林　正	長岡市十日町	
34	生き還る花	小林凛太	長岡市東神田3	
35	静寂の中で	古川洋次	長岡市川崎1	
36	散歩日和	渡邊幸弘	長岡市寺泊竹森	
37	旅情	山田庸子	魚沼市	
38	大好き泥んこ遊び	石津不二男	新潟市	
39	秋の調べ	片桐　寛	長岡市新保町	
40	霜降の里山	大関　仁	長岡市高見1	
41	替入	広瀬政春	上越市	
42	男の祭り	小林靖子	長岡市浦	
43	その先に	松田浩明	燕市	
44	残照に映ゆ	星野宗一	小千谷市	
45	正三尺玉100年	木村信男	長岡市北山3	
46	雅な街で	松田佳子	燕市	
47	押ッセ！押ッセ！オッセヤイ！	星　正太郎	魚沼市	
48	サークル	山本洋子	三条市	
49	見守る赤い塔	滝沢陽一	長岡市神田町3	
50	風光明媚	髙頭公也	長岡市下山2	
51	収穫の喜び	松井克彦	長岡市川崎1	
52	13本のハサ木と13人のカメラマン	永井和也	長岡市住吉1	
53	休日	和田玲子	小千谷市	
54	NAGAOKA発デフ金メダリスト	宮澤雅人	新潟市	
55	パート開く	荒井　浩	三条市	
56	朝靄にかすむ湖畔	波間昌平	十日町市	
57	復興を！千枚田と朝市	西村欣一	新潟市	
58	神の郷	小黒昇一	新潟市	
59	わたしの特等席	小黒　亮	長岡市中之島	
60	残照の横顔	新保　勲	小千谷市	
61	自然童話の郷	外山和子	魚沼市	
62	雪国の小正月	丸山一久	十日町市	
63	見守りつづけて	藤井義男	長岡市悠久町3	
64	癒しの里	西山令子	長岡市古正寺3	
65	陽のあたる灯台	杵渕清博	小千谷市	
66	思う	外石智慧子	加茂市	
67	お手上げよ	長谷川　明	加茂市	
68	ビストロのある街角	陣内敏夫	小千谷市	
69	舞い姿	遠藤光雄	長岡市関原町1	
70	唐辛子舞う	丸岡　武	長岡市沢田2	
71	祭り、終って…	今井和行	長岡市高町3	
72	不動の祈り	星野伸夫	長岡市川崎4	

No.	作品名	氏名	住所	備考
73	アッ、空からも秋	黒田登美子	長岡市悠久町4	
74	無垢を咲く	大瀧　勲	小千谷市	
75	庇護の視線	田邊留美子	柏崎市	
76	苗名滝ウォッチング	平松一政	長岡市与板町与板	
77	風に舞う	大塚　昇	長岡市上条町	
78	雪原に落ちる足跡	大久保明良	長岡市中野中	
79	北国の冬物語	南雲秀之	小千谷市	
80	ただいま反抗中	石原友子	長岡市高町4	
81	子狐	栗山泰一郎	長岡市神田町3	
82	土用波の頃	岡村正生	見附市	
83	腕の中の未来	野尻明張	長岡市青葉台5	
84	スキマ戦線異常アリ	横山丈浩	長岡市宮下町	
85	ガラスへの想い	星野眞由美	新潟市	
86	満開の中で	田中昇一	長岡市東神田2	
87	静寂に咲く	恩田美子	小千谷市	
88	格子の中の情熱	田中弘子	長岡市三島上条	
89	六月三十日、夏越。	小日向一枝	三条市	
90	1950齢（90齢×15名）卒寿	渡邉　篤	長岡市与板町与板	
91	庭の柿、スズメバチの特等席	今井東一	長岡市沖田2	
92	今が一番：恩師と	志田　潔	長岡市豊詰町	
93	梅雨の晴れ間に一仕事。	田中修二	長岡市青葉台3	
94	鏡像都市−ニューヨーク−	広川和義	長岡市古正寺1	
95	翠明	松本文郎	長岡市小島谷	
96	一休み〜一休み	牛腸健一	見附市	
97	忍び足	土田正市	長岡市東新町1	
98	投げたよ!うまくとれよ!	黒﨑敏夫	小千谷市	
99	冬の手	山下由衣	長岡市長峰町	
100	古なじみ	笹川浩史	柏崎市	
101	おらしょーしー（わたしはずかしいー）	片山友幸	柏崎市	
102	釣り人達	藤井則子	新潟市	
103	雪の朝	和田　均	小千谷市	
104	命の輝き、誕生の舞台	小林康夫	長岡市曲新町2	
105	深紅のステージ	中林義雄	長岡市東川口	
106	禅問答	大平　勉	長岡市大島新町3	
107	攻撃	菊地柾芳	燕市	
108	父ちゃん捕れたよ	柴木健市	長岡市中之島	
109	一瞬の間	桐生幸子	長岡市要町2	
110	滝行	安部賢固	小千谷市	
111	波避けダンス	諸橋義美	長岡市文納	
112	受け継がれる命	大室久美子	長岡市千秋1	
113	揺らぐロジック	木村純子	長岡市中島2	
114	夜を照らす街	瀬沼功一	魚沼市	
115	曾孫が祝う ばぁばの白寿	中村尚志	長岡市巻島2	
116	妖狐	山本清孝	長岡市長峰町	
117	命の輝き	伊藤晴雄	三条市	
118	目覚める季節	佐藤吉晴	魚沼市	
119	青空に咲くサクラ	仲　淳	小千谷市	
120	20才の記念に	和田恒夫	小千谷市	
121	湖畔の主	村山　博	十日町市	
122	つむじ風	増子正弘	新潟市	
123	日の出	前田一彌	長岡市南七日町	
124	子供の日	明田川　洋	加茂市	
125	On a rainy day,	小川苺華	見附市	日報賞
126	嬉しいスキップ	小林英子	加茂市	奨励賞
127	準備万端	高野　裕	長岡市大手通2	奨励賞
128	ワニ雲に呑まれる三日月	中川　等	柏崎市	奨励賞
129	振袖	中村　弥	新潟市	奨励賞
130	激突	小林　博	長岡市悠久町1	奨励賞
131	雪原の雄姿	樋熊富男	十日町市	奨励賞
132	白銀のキャンパス	樋口正夫	十日町市	奨励賞
133	Sさんの宝物	小片彩香	長岡市石内1	奨励賞
134	仲良し姉妹	渡辺恵子	加茂市	市長賞
135	余熱	小野順平	長岡市今朝白1	記念賞
136	紙風船	佐藤研二	魚沼市	奨励賞
137	安住の館	渡辺繁夫	長岡市荻野2	奨励賞
138	晩秋の穂波	太刀川加代子	小千谷市	奨励賞
139	あうんの波紋	佐野恵子	長岡市学校町3	奨励賞
140	うんめい胡瓜	星野　栄	燕市	奨励賞
141	海を駆ける	岡嶋和幸	千葉県	審査員
142	街角	田辺千勝	南魚沼市	審査員
143	101歳の手	高橋　實	長岡市小国町太郎丸	
144	真夜中の語らい	池田勝晃	長岡市新保2	

写真部門

No.	作品名	氏名	住所	備考
145	暮れる頃	倉部光行	柏崎市	
146	命繋ぐ	坂詰康也	長岡市三俵野町	
147	羽休め	大倉美来	長岡市村田	
148	風情と趣	小幡亜香莉	長岡市柏町1	
149	佇まい	瀬沼彩羽	長岡市関原南2	
150	夏の途中で	桑原美桜	南魚沼市	
151	境界の曖昧	真島ののか	長岡市関原南2	
152	都市の静寂	今井　愛	長岡市今井2	
153	朝日を浴びて	間野結衣	小千谷市	
154	僕らの晴れ舞台	石坂萌香	見附市	
155	陽にとけゆく	小川乃愛	長岡市呉服町1	
156	力強く	後藤夏季	長岡市大島本町5	
157	知覚過敏	笹岡実佳	長岡市川崎2	
158	登頂	藤原安奈鈴	長岡市学校町1	
159	こっちを見てる	山之内小雪	南魚沼市	
160	野原の小さな主人公	藤巻咲耶	十日町市	
161	残照	髙野修治	長岡市宮沢	
162	迷路？ワカンナ〜ィ！	酒井正人	長岡市三和1	
163	火星の生命体	小幡トミヱ	長岡市神田町1	
164	地域住民の花火	大竹光志朗	長岡市四郎丸1	
165	流動	稲庭良河	燕市	
166	揚	細木優介	長岡市長倉1	
167	星降る鳥居	中村蒼梧	新潟市	
168	蒼天の舞姫	星野康明	長岡市宮内7	
169	静寂に想う	渡邉恭平	新潟市	

出品状況

	応募数	入賞・入選数	市長賞	市制施行120周年記念賞	奨励賞	新潟日報美術振興賞	入選	審査員作品	展示数
日本画	20	20	1	1	1	1	16	1	21
洋　画	136	131	1	1	10	1	118	2	133
彫　刻	20	20	1	1	1	1	16	1	21
工　芸	45	45	1	1	2	1	40	2	47
書　道	82	82	1	1	6	1	73	2	84
写　真	276	167	1	1	13	1	151	2	169
合　計	579	465	6	6	33	6	414	10	475